

22/12/16 第2回金シャチ横丁第二期整備 博物館ゾーン整備基本構想検討懇談会  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

13:00

鈴木：上田所長代読

これまでワーキングをしてきた  
ご検討いただきたい

鈴木：出席者紹介

千田、高田休み

観光交流局名古屋城総合事務所

撮影・録音はここまで

会議資料 1.2

構成員には基本構想原案を配布した

進め方説明 資料1 博物館ゾーン整備基本構想説明

資料2 第1章～4章説明

名古屋城：資料1

おもてなし機能の充実

平成24年度に構想策定

平成30年 義直ゾーン、宗春ゾーン

令和4年度 博物館基本構想策定

2回非公開ワーキング実施

来年度から基本計画を策定

設計、工事、竣工予定

鈴木：基本構想概要説明した

質問は

続いて説明

13:09

名古屋城：資料2 1.2章

博物館に求められる新たな役割

・博物館ゾーン機能・役割

旅の拠点「歴史探訪のゲートウェイ」

・博物館に求められる機能・役割

城に学び、城と歩む

13:19

鈴木：お一人ずつご意見を

木下：2つ意見

博物館を作る 未来へ向けて 基本

基本要件を満たすこと

博物館法改正 旧来型にとどまらず、どうあるべきか

資料収集、保存、研究、展示

「文化観光」日も浅い言葉

内実を作っていくべき

ワーキンググループ 方向性は見えている

知の拠点が観光につながる

近代研究 名古屋城にかかわってきた

近代まで視野に入れるものに

天守建て替え問題が進行

意見が分かれている

戦後立てられた RC 歴史的価値はある

壊されるにしても、歴史、資料や情報もこの博物館で資料として保存・研究を

名古屋城にとどまらずに日本の城郭を学ぶ

名古屋城 魅力が十分伝わっていない

名古屋城の魅力とは？

整理し、発信はどうあるべきか

鈴木：ありがとう

古池：地元 観光、まちづくり

博物館を核としたネットワーク

市内全体を

3 ページ 概念図 もう少し丁寧に書いて

名古屋駅 観光軸 何らかの意味

伊藤家住宅などを活用して 四家道、円頓寺も

水陸両方のネットワーク

水運も

セントレアの軸 インバウンド？

ハの字 栄

徳川園に向かう文化の道

新しい軸を訴える バージョンアップを

鈴木：佐々木先生

佐々木：文化観光、概念図 名古屋城から本町通 大須の生まれ  
名古屋城には出かけた  
アイデンティティである  
本丸御殿再建がうまくいき、天守も再建成功させる  
名古屋市民にとってアイデンティティの上で大きいと思う  
生まれたときは城がなかった  
コンクリートで天守が再建された  
何回も中に入った  
かつての木造の軍事施設 どういうものだったのかと思う  
長い年月を経て再建される 問題はあるにせよ意義深い  
一方、美術館相当施設 中身を名古屋城博物館に  
基本的に賛成 いいこと  
名古屋という都市 観光都市としては程遠い  
産業都市 大都市だが文化観光の面はまだまだ  
金沢に住んでいるが、京都・金沢 専門的な博物館が少ない  
城郭を中心とした博物館を置く  
文化観光都市名古屋として一つの核  
1章2章 うまくまとめてある 前提条件  
知の拠点、観光の起点  
3年前 国際博物館会議京都に出席  
まとまらなかった  
条例 多面的な意見  
何が大事か  
有形無形文化財 展示する  
地域住民にとってどういう意味があるのか  
「開かれた場である」  
アクセシティブ、インクルーシブ  
名古屋の市民に近づきやすいもの  
そのうえで観光の起点に  
孫を連れて名古屋城に行った  
コロナで小学生が名古屋城に行く機会がない  
現代アート 文化振興  
歴史の中に置くより、現代アートと取り合わせる  
京都二条城 2017年以降現代アートを展示した

## 多様な文化的な場 屋内展示と屋外展示

鈴木：ありがとう

田沢：特別史跡に名古屋城が指定

保存活用計画

天守木造化 持っていた機能をどうするか

「木造でできる」新しいものをつくるではなく、資料がある

江戸初期と同じもの

神社建築は何十年かに一度作られる

再建に応じていろんなものが発見される

歴史的な行為になる

再建に伴うものが視点に入っていない

技術を保存していく

江戸期の城郭建築技術も出てくるだろう

石垣 またとない価値・魅力を発見する場所

観光にどう結びつけるか

文化観光 基本的には地方は産業はない

名古屋は経済都市 観光観光に頼らないといけないのか？

より本質的なもの 今の観光ではなく、10-30年

将来的に意味を持つ 見たいと来る

市民から見た名古屋城の価値

認知度 全国

課題 全国

目線の整理が見づらい

本物にこだわるべき

→やはり再建されたもの

障壁画も本物が残っている

本物をうまく展示

登録博物館 果たさないと計画に大きく影響する

戦後復興期 市民とともに歩んできた

インバウンドだけでなく、市民にとっての価値

コンセプトは賛成

本物を展示し、魅力を感じ、世界に発信して

鈴木：ありがとう

意見交換に移る前に、千田先生から意見頂戴した

名古屋城：1章2章3つ

1ページ (2) 背景

整備面の前に

「特別史跡名古屋城の本質的価値の魅力確認」

☆史資料だけでなく、重要文化財

「本物が見れる」

1ページ 1章3 現代

(2) 名古屋城に残る指定文化財一覧を入れては

指定の経緯 参考資料

意義 重要文化財や美術工芸品も残っている

13:47

鈴木：ありがとう

名古屋城：意見を踏まえて

木下 文化観光の施設として大いに役割を期待される

文化観光のモデルケースを目指したい

古池 3ページ 図

名古屋城と栄 セントレアまで抜ける

市内も重要

佐々木 地域住民 どんな意味があるのか

市民の宝 市民のかかわりが大前提

屋外展示はあとで紹介する

田沢 木造復元を踏まえて

新たな発見が出てくる

本物を見せる 文化財を整える

鈴木：資料については

木下：1ページ3 (1) 歴史建築

「美術」と入れた方がいい

障壁画は展示できるかは別だが資産

天守の再建 想像を絶する大工事になると思う

本丸御殿 工事風景 平屋であれほどの大工事

得られる様々な知見、情報は膨大 今後出てくるだろう

博物館はすごい資源を持っているはず

1945年まで存在していた 莫大な情報  
博物館 どう受け止められるか  
3章4章につながる話

鈴木：知の拠点と観光の拠点 別々でなくて  
地域社会 間にあるもの とっても意義があるのでは  
歴史、美術、建築  
どうしても「特別史跡」の仕事をしている意識  
美術 偏ってしまうことがある

村木副所長：天守解体に伴う意見  
現在の天守閣 SRC 耐震性に課題がある 閉館  
将来的には建て替えよう  
SRC 本来のものではない 市民の方から寄付を得た  
記録も重要  
文化庁からも整理してと言われている  
資料を集めている  
全体整備検討会議 進捗状況報告した  
現天守の価値と評価まとめた  
今後も進めたい  
記録・記憶にとどめていきたい  
調査の中で、新たに知見  
石垣調査数年やってきた 天守の縄張りの計画変更遺構  
石垣の状態が分かる  
建物そのもの 焼けた金具調査  
復元に活かしたい  
その他資料 膨大 復元にとって重要 昭和実測図、ガラス乾板  
近世文献まで手が回っていない  
しっかりやっていきたい

13:57

鈴木：後半戦の議論で  
1時間たった 一度換気 少し休憩をはさみたい  
5分程度  
14:05 から再開したい

14:05

鈴木：後半始める

3章4章

名古屋城：博物館ゾーン整備方針

4章 展示方針

14:10

鈴木：一人ずつ意見を

逆の順番で

名古屋城：高田先生

3章博物館ゾーン概要 5ページ 左下

名古屋市博物館、徳川美術館

大津通 戦争に関する博物館も載せては

千田先生 整備面、観光面 本質的価値を明示すべき

6ページ 3 必要な機能

導入機能 調査研究機能をより一層の充実を

市民アンケート調査 国宝、重要文化財の実物展示を

収蔵できる施設を

7ページ 城の歴史を全体的にだけでなく

世界の城の紹介を

検討したい

鈴木：田沢先生

田沢：整備の方針 有料か無料か 対応が違う

4ページ 来訪者、期待される効果

・一方では関心の高い観光客

・イベント

観光客は短時間で回る

しょっちゅう訪れる場所かどうか

来訪者がストレスなく 障害者対応 インバウンド

どのようなストレスがあるか

整備方針 指定文化財になるか

整備対象区域ゾーニング 企画展 バックヤードが必要

展覧会 輸送の時の箱 巨大なものが来る可能性

箱を解体して組み立てるところもあると聞く

駐車場 全部対応できる駐車場は無理  
少し視野を広げてどうするかが現実的  
名古屋城木造になった時の話  
本丸御殿 複製のものがはいつているが、本物の空間  
本物はない  
市民は国宝、重要文化財が展示されると思っている  
江戸の障壁画 どう博物館とかかわるか一番重要  
観覧者導線 どれくらいの時間いるか  
観光客 30分、1時間  
関心の高い人は長くいる  
複数の導線が必要  
歴史軸 具体的にはよくわからない

鈴木：佐々木先生は

佐々木：2-3ある

屋外展示提案  
屋内展示 企画展示がしっかりしていないとうまくいかない  
大阪市大教員 大阪城となんど城 姉妹城提携  
どちらも美術館がある  
美術館と資料館の提携  
館長が講演  
名古屋城 海外との城 姉妹関係はあるのか  
海外の城 城郭美術館と提携すれば、企画展としてやれる  
近世からの城の歴史 きっちりする  
世界の城 姉妹関係 将来的には考えられてもいいのでは

古池：博物館展示は素人

素人目線で気になっている  
城と歩む これからも歩いていく その通り  
実際としてどうやって具体的にやるのか  
想定される来訪者  
・関心の高い市民  
・

裾野の広げ方 果たして何があるのか  
3つある 教育課程の子どもたち  
市民アンケート 30%

そこに暮らしている人たち

城下 残っている？

2025年 文化振興計画

裾野を広げる

博物館 ミュージアムショップが楽しみ

サービス機能 どうか

歴史を前に進める プロモーション機能がある

オプション的な機能

ソフトがついていないと

関心がある人だけ

せっかくのコンセプトをどう実現するか

問題提起だけ

木下：博物館を作る

どんな機能が必要か

調査研究は土台 一番必要

収蔵庫 きちんと作る

展示の方 時系列に沿った城郭 歴史を見せる

空間構成にとった展示

城下町が入っている

本丸、二の丸、三の丸

現代の都市とは違う構成 異文化理解

現在の文面 知の拠点と観光の起点

整理しないといけないのでは

5ページ 博物館ゾーン

3ページ機能

どういう意味で使うのか

「起点」固まらないまま使っているのでは

出発点？ソース？

明治5年 名古屋城 天守を見て「博物館にすべき」

ロンドン塔 世界中の武器が展示されている

名古屋城 博物館を今作る

町田久成の頭にイギリスの城があったのは面白い

14:35

原：調査研究センター

木下 魅力とは何か

わかっているつもり 我々が発信できるかどうか自問  
博物館を作るにあたって根幹  
重要文化財がいっぱい、天然記念物もある  
日本で唯一 価値を発揮しているか  
資料があるから現在の天守再建ができている  
名古屋市民の方ですら知っているのか  
博物館にしても、行政が作るわけではなく名古屋市の方に支持してもらえるか  
「名古屋城は本当にすばらしい」  
課題がある 手法的  
空間構成 挑戦していかないと  
テクノロジーで解決できる部分、できない部分

名古屋城：失われたもの 巨大だが、  
失われていないものも膨大  
特別史跡の土地、重要文化財の建物、天然記念物  
周辺 徳川美術館、蓬左文庫、名古屋城博物館  
名古屋市博物館は市民の資料も充実  
すべてのものが密接に絡んでいる  
名古屋城しかできない  
客もわかる 土地の中で資料を見る 楽しんでもらえる  
昔の天守閣 物を見ていなかった  
観光に来た 行った時点で目的達成  
西之丸城宝館 観光とは切り離されている  
じっくり見てもらっている  
新博物館への期待が高まってきた

鈴木：姉妹城郭、姉妹博物館  
目からうろこ  
姉妹都市 ロサンゼルス、メキシコ、シドニー  
城はない  
南京、ランス、トリノ 城はある  
タシケント、台中  
広がるな  
オブザーバーの方にご意見を

大竹：名古屋商工会議所  
聞かせていただいた

事務局 資料ありがとう

観光振興の仕事

観光の魅力向上

正直ロケーション アクセスがしやすいか？厳しい

名古屋城駅からまっしぐら

本丸御殿

新しくできる 駅、自家用車、めーぐる

博物館ゾーン 整備と併せて回遊性 アクセスができるように

サービス機能関心が高い

博物館で学び楽しむ

食、休憩は外せない 買い物

博物館の中で難しくても、名古屋城エリアでできれば

資料1 「世界の」金シャチ横丁

インバウンド 考えにくいだが、市民の人に愛される

世界から名古屋を見にきてもらいたいな

本丸とか整備をして魅せていく

インバウンド 障害者にも来やすく

市民アンケート 名古屋城断トツ

次 熱田神宮

名古屋城と熱田神宮はセット 2大スポット

見て帰るくらいの気持ちで

移動するのも大変

鈴木：恥ずかしいが熱田神宮が誤植

北折：観光コンベンションビューロー

先生方発言 勉強になった

整備計画の中で4ページ上 知の拠点 観光の起点

観光の部分 新しくできる博物館

年間の入館者数想定 入館料みこみ

足枷になることがあるかも

一般の観光客 楽しい施設にして

知の拠点整備 歴史学習、調査研究、情報発信

観光の起点 わくわく感、ドキドキ感

楽しみの演出

全国的にも早い段階でおもてなし武将隊 成功事例

最新技術 AR,VR

NTT ドコモ 70代人間で7割スマホ  
スマホと親和性が高い  
スマホを使って活用できるように  
★あまり歴史学習、調査研究成果 押しつけがましく発信すると  
引かれる可能性  
バランスをやってはどうか

木村：名古屋市博物館副館長  
昭和古くなる 令和8年度オープン予定  
資料2 1ページ  
途方に暮れる  
社会的包摂 福祉とどうかかわるか  
古池先生 子どもたち  
市博物館 教育委員会所管  
学校の先生が求めていることが違う  
現場のニーズとあわない  
1人1台タブレット 学びが大きく変わる  
名古屋城博物館 参考にしていただければ  
田沢先生 障害者、海外  
多様性 マスト  
市博物館 設計  
当事者から話を聞いた  
名古屋城博物館 当事者から今後話を聞く  
「そうだったのか」話が聞けると思う

鈴木：ご助言があれば

佐々木：オブザーバーが言われた  
大須の生まれ  
大須にいと、名古屋城と熱田神宮は等間隔  
つながり  
堀川をって名古屋城を作った  
宮の渡し  
堀川 きれいになった  
つながる  
名古屋駅と栄 横につなぐだけでなく縦につなぐ

鈴木：ありがとう

あっという間の2時間

多くの意見を頂戴した 参考になった

構想策定 6章のうちの4章

年度末を目標により良いものができるように

予定していた議題は以上

懇談会は以上

ありがとう

14:56